

# 地震への備えを確認しましょう

区内でも大規模な被害が発生するとされている首都直下地震は、30年以内に7割程度の確率で発生すると想定されています。今一度、災害から身を守るための備えを確認しましょう。

## 「荒川区防災アプリ」で災害情報や避難方法等を確認しましょう

荒川区防災アプリでは、区が発信する防災・災害情報をリアルタイムで受け取ることができます。

大地震等が発生した場合でも適切な行動がとれるよう、日ごろから荒川区防災アプリを活用しましょう。

### ダウンロードの方法

App Store、Google Playから「荒川区防災アプリ」で検索または、右の二次元コードからダウンロードしてください。



▲荒川区防災アプリのアイコン



▲iOS用



▲Android用

※ダウンロードは無料です（通信費は本人負担）  
※リニューアル前のアプリを利用している方は、改めてダウンロードしてください

### 主な機能

- ▶ 防災行政無線で放送した緊急情報を表示し、必要に応じて音声で聞くことができます
- ▶ 洪水の浸水想定区域・土砂災害警戒区域等を地図上で確認できます
- ▶ 災害時に、避難指示等の発令区域、被害状況、避難所の開設状況・混雑状況を確認できます
- ▶ 現在位置から最寄りの避難所等や、交通・ライフライン等の公共情報、気象情報を確認できます



問合せ 防災課防災管理係 ☎内線497

## 在宅避難に備えましょう

### 日常備蓄を行いましょ



過去の震災時の避難所では、「支援物資が行き渡らない」「トイレが使えない」等の問題がありました。そのため、家が無事で、地域に火災の危険がない場合は、自宅にとどまる在宅避難が有効です。

日ごろから食料等を多めに購入して、生活に必要なものを「家族の人数×7日分」備えておく「日常備蓄」に取り組みましょう。

### 家具類の転倒・落下・移動を防ぎましょ



近年の震災での負傷の原因のうち、約3～5割が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。けがや避難の妨げを防ぐためには、家具類を転倒・落下・移動防止器具で固定することが効果的です。

区では、家具類の転倒・落下・移動を防ぐための器具設置工事や器具購入の費用を助成しています。詳細は、お問い合わせください。

### 通電火災を防ぎましょ



過去の震災で発生した火災のうち、約6割が「通電火災（電気が復旧した際等に発生する火災）」によるものです。通電火災を防ぐためには、強い揺れを感知した際にブレーカーを落とし、電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置が効果的です。

区では、感震ブレーカーの設置工事費・器具購入費を助成しています。65歳以上のみの世帯の方等には、簡易型感震ブレーカーと自動点灯ライトの無料配付も行っています。詳細は、お問い合わせください。

問合せ 防災課防災事業係 ☎内線418

## 災害への備えを万全に

荒川区長 西川太一郎

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から11年が経過しました。改めて、亡くなられた方々に対し謹んで哀悼の意を捧げるとともに、ご遺族の方々に御悔やみを申し上げます。また、被災された方々や、今なお避難生活を送っておられる方々に、心からお見舞いを申し上げます。

この11年間、区では過去の災害から得た貴重な教訓を心に留め、永久水利の

整備や町会等と連携した防災訓練等のさまざまな災害対策を実施して参りました。近年は、新型コロナウイルス感染症等との複合災害のリスクを視野に入れた備えも進めて参りました。

今後も、一人の犠牲者も出さないよう取り組んで参りますので、区民の皆様におかれましても、命と財産を守るための備えをお願いいたします。

## 東日本大震災発生の日 の弔意について

東日本大震災が発生した3月11日に、区施設等において地震発生時刻（午後2時46分）に合わせて1分間の黙とうを行い、哀悼の意を表します。皆様のご協力をお願いいたします。

問合せ 総務企画課総務係 ☎内線2211